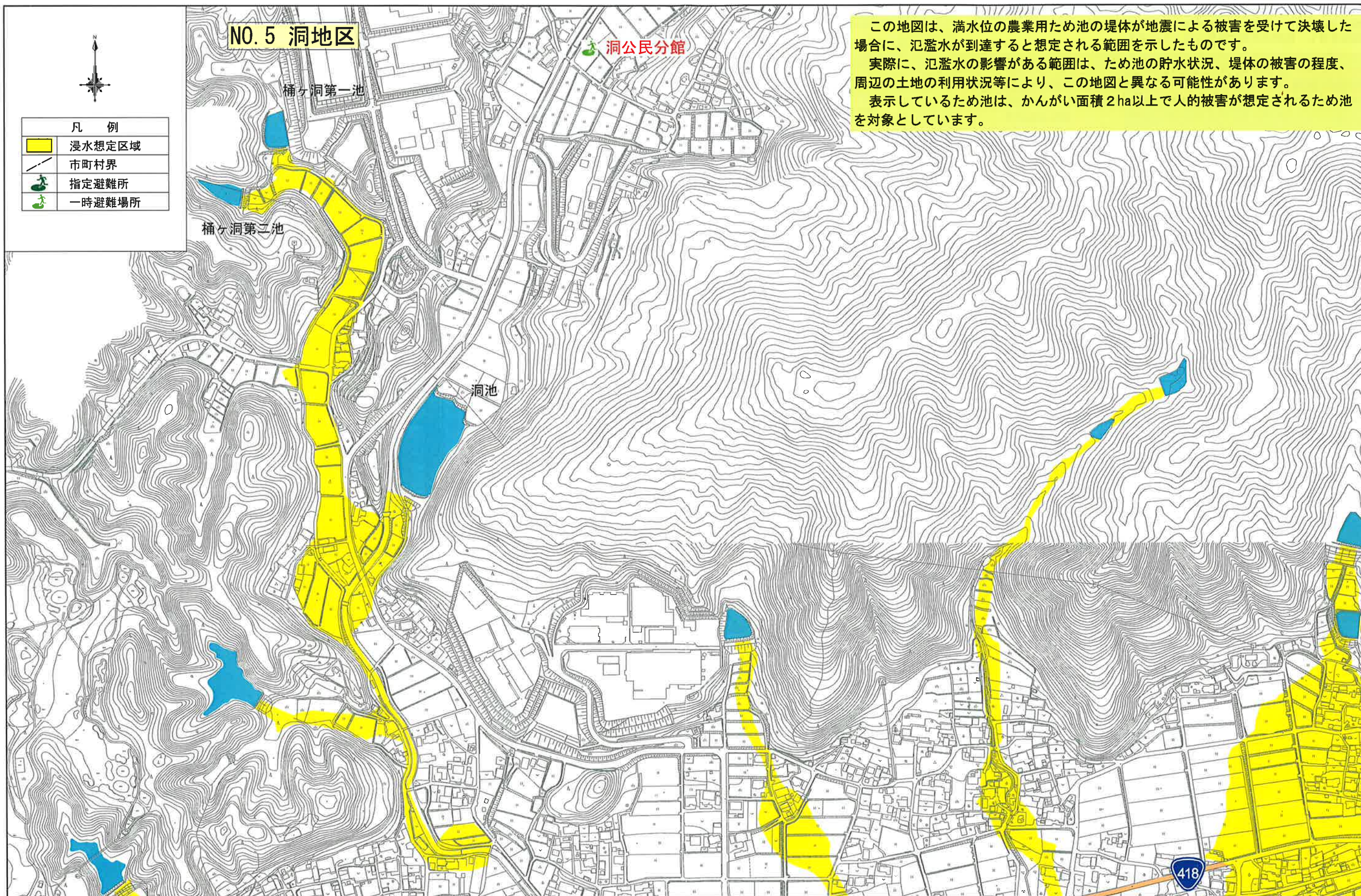


八百津町 ため池ハザードマップ

1:6,000



ため池の役割

ため池は、八百津町内の農地をかんがいするために造られた貯水池です。
現在は、農業用水の利用のほか、防火用水としての利用や人命・住宅・農地・道路などを洪水から守るための洪水調整機能を備えています。また、美しい景観や親水空間を提供するとともに、水辺の生物多様性を支える重要な役割を果たすなど、豊かな多面的機能を有し、地域の大切な施設となっています。

ため池の規模

浸水区域図作成の条件

堤体決壊条件

本ハザードマップは、堤体が満水時に決壊した場合の浸水状況を記載しています。地震時の決壊は、瞬時に起こると仮定し、解析を行っています。

堤体決壊時の最大流出量と流出継続時間

堤体が決壊したときを想定した最大流出量と流出継続時間は、左表の通りです。

浸水想定区域の仮定

浸水区域は、流下する地域の地形条件に、堤体決壊時の最大流出量を与え、降雨量はゼロとしてシミュレーションにより求めたものです。

浸水に与える流量は、ため池の総貯水量のみとして、河川には水がないものとして浸水範囲を解析しています。

大雨による決壊の場合には、この浸水想定区域に加え、降雨および河川の水量が加わってきますので、浸水区域がさらに広がる可能性があります。



名称	堤高 H (m)	総貯水量 V (m3)	最大流出量 Qmax (m3/s)	流出 継続 時間 (分)
桶ヶ洞第1池	5.50	3,200	59.566	2
桶ヶ洞第2池	5.00	5,250	70.456	2
洞池	7.00	30,500	169.915	6

避難場所

一時避難場所

名称	電話番号	名称	電話番号
洞公民分館			

地震および豪雨による堤体の決壊

地震および豪雨により堤体が決壊する被災形態、及びその被災メカニズムは下記のことが想定されています。
堤体の異常に気がついたら、防災関係機関などに緊急連絡するとともに、浸水想定区域の外に退避するようにしてください。

地震により堤体が決壊

被災形態	被災のメカニズム
＜クラック＞ 	堤体の頂部などにクラック（亀裂）が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じるクラック（亀裂）は水みちとなることもあり、特に注意が必要です。
＜沈下＞ 	堤体の形状をほぼ保ち、クラック（亀裂）などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生しています。
＜斜面崩壊＞ 	堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。
＜斜面すべり＞ 	地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。
＜崩壊＞ 	堤体や地盤が大きく変化し崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。

豪雨により堤体が決壊

被災形態	被災のメカニズム
＜浸透破壊＞ 	堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇したときに堤体中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。 また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。
＜すべり破壊＞ 	貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合があります。
＜越流破壊＞ 	豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下することによって、破壊する場合があります。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。

緊急時の連絡先

ため池の異常や漏れ、決壊など気づかれた場合は、関係機関等に一報を入れてください。

名称	電話番号	住所
八百津町役場	43-2111	加茂郡八百津町八百津3903番地2

各種情報（インターネット・ホームページ他）

関連項目	アドレス	発信元
防災情報	http://www.town.yaotsu.lg.jp/ ent@chat.yaotsu.jpに空メールで登録	八百津町役場
防災・防犯	http://www.pref.gifu.lg.jp/	岐阜県総合防災ポータル
交通情報	http://douro.pref.gifu.lg.jp/	岐阜県
防災気象情報	http://www.jma.go.jp/	気象庁
防災気象情報	http://www.jma-net.go.jp/gifu/	岐阜地方気象台

避難するときの注意事項

地震による堤体の決壊は、予測が難しいうえ、浸水の到達時間が早いので、事前の備えをし、自主的に浸水区域の外に避難できるようにしましょう。
ため池の決壊と、大雨が重なる時は、浸水被害想定範囲が拡大し、水深が深くなる恐れがありますので、注意してください。

日頃からの準備

我が家の避難経路・避難場所



被害が想定される位置を確認し、いざという時の我が家の避難経路、避難場所、連絡方法を家族で決めておきましょう。

非常持ち出し品の事前準備



荷物は最小限の物にし、いつも取り出しやすい一定の場所に保管しましょう。保存期間等にも注意し、交換・補充するようにしましょう。

浸水想定区域外への避難

火元確認を



避難する前に、電気のブレーカー、ガスの元栓、ストーブのスイッチを切るなど火元を消しましょう。

自主避難を



大きな揺れ（屋内では、棚にある食器類が落ちる。屋外では、電柱が揺れる等）があり危険を感じたら、自主的に避難しましょう。

避難時の注意事項

動きやすい服装で



丈夫な靴、動きやすい服装で、安全な経路を歩いて徒歩で避難しましょう。単独行動は避け、二人以上の避難を心がけましょう。

浸水は、浅くても危険



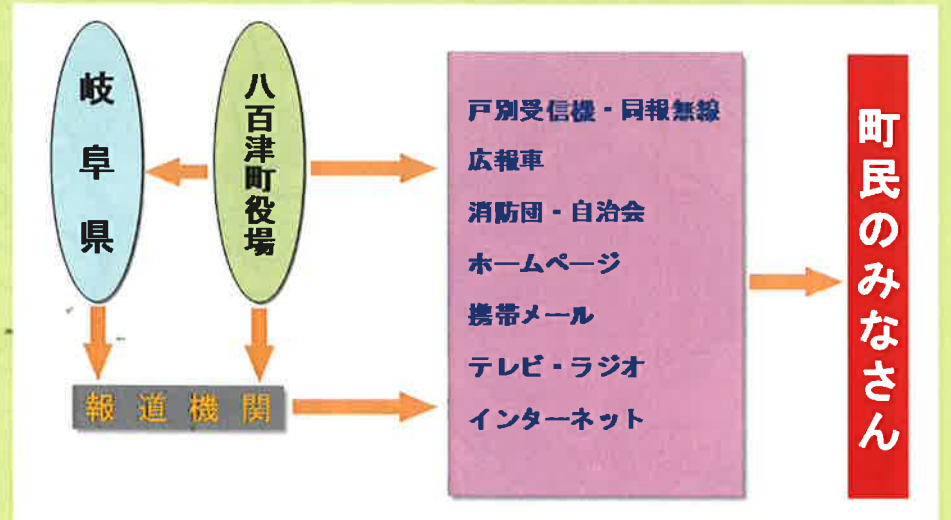
水深がヒザまで来ると、歩くことが困難になります。水深が浅くても、流れに勢いがある場合には、むやみに歩き回るのは避けましょう。

万が一、逃げ遅れたときは



万が一、避難が遅れ、危険が迫ったときは、高い所へ逃げましょう。

情報の伝達経路



この地図は、農村地域防災減災事業に基づき、岐阜県が作成したものです。
岐阜県可茂農林事務所
〒505-8508
美濃加茂市古井町下古井2610-1 可茂総合庁舎3F
TEL 0574-25-3111（代）